

磐城時報

石城郡平田町掛屋町十四番地
電話掛屋町十四番地
印刷部掛屋町十四番地
發行部掛屋町十四番地
廣告部掛屋町十四番地
電話掛屋町十四番地
電話掛屋町十四番地
電話掛屋町十四番地
電話掛屋町十四番地

經營困難に陥つた

白銀町魚取引所

縣では市場法違反と断定 平町役場・平署に回訓

平町鮮魚商人のうち鈴木又六氏對一派の人々は過般平魚市場に對し、掛買の者にも割戻しをなす事、全部に對して貨賣をなす事等を要求し會社に容れられぬので平町白銀町平劇場跡に鮮魚取引所を設けて平魚市場に對抗する事になつたが、同取引所は總對しては、縣の許可を受けざるの點から見て市場に類似するものには取引を行はしめぬやうにため縣當局では平警察署をして命令を發した。回訓に接した平詳細に調査せしめた結果市場法町役場では直ちに取引所代表者に抵觸する事が判明したので、にその旨注意する處があつたが縣警察部並に商工課では合議の鮮魚取引所は縣令違反として早結果市場法違反と断定し去る三ヶ月も存立を許されざる状態に立つ月二十七日附を以て平町役場にも至つた。

取引所 出入する者には

魚は賣らぬ

各濱船主が申合せ

平町白銀町の鮮魚取引所は縣令引所が設けられたので再び數年違反として撤回を迫られるに至前の貨賣状態に逆戻りする事をつた事前項の如くであるが、恐れた結果江名、豊間、四倉各三郡の船主は平魚市場が設けられた船主は協議の結果、新取引所は前回は買立になつて困つての所に出入する者には禁止せよ(買た處平魚市場が創立された後はらぬ事)を申し合はせるに至つ現金取引となつたため非常に喜んだので、新取引所には出荷者なんでるた矢先き、かくの如き取引の點に於ても大打撃で結局

米貯藏家に 變質の忠告

變質の忠告

石城郡下の産米は昨秋米作の收穫並に收納の時期に天候不順で郡飯野村青年團は三日午前十時同村小學校に總會を開き農事試験の變調なる暖氣に達つたため變驗場神谷分場稲田技師の農事に質腐敗したもの多く目下市場に關する講演ある。

花見を控へて 踊のお稽古

踊のお稽古

縣下消防大會は来る十五日櫻花爛漫の平町で開催さるゝ事となり大會後松ヶ岡公園で園遊會を催はす等公園廣場に大舞臺を設け平美妓の踊がある等出演藝妓は壽々亭外數ヶ所練習中であるが、番組並に出演者は左の如く平町花柳界様々のものである。

候補者決定

候補者決定

▲第一屋敷 敷娘 ▲踊品澤蝶々、玉川政榮、榮家榮、竹の家小鯉、谷口文勇 ▲開花丸 ▲三味線谷口秀勇、林家小秀、叶家小玉、久本い子、二葉家百合葉、三島家春子 ▲第二 元祿花見踊 ▲踊仲家小清、山形家夢二、湖月豆蝶、米京小豆、三好家小太郎、野口金香 ▲三味線品澤小光、叶家小玉、谷口秀勇 ▲久本い子、湖月小子、林家榮太郎 ▲四倉消防檢閲 ▲四倉警察署管内二町四ヶ村消防聯合會春季檢閲は十三日午前九時より四倉海岸に於て執行する。

一組の若き男女 投身を装つて戀の道行

湯本の色街から 落ち行く先さや何處?

石城郡湯本町湯本信用無盡會社に至らずとも半額位までは納入さ事務員綠川増雄(二〇)同町文化の、事に決したため三名の定員堂書店息某の兩名は兼ねてから減員の一名分を専ら前記の新規馴染を重ねてゐた同町藝妓置屋事業に充當せしむる事になり漸高屋方抱藝妓金太(二〇)同豆干、一時存在をさへ危ぶまれた同代(一八)の兩名と三十一日夕刻組合も新陣容を整ふるに至つた座敷から墮落して植田驛に下車し徒歩で勿來を過ぎ平瀨海岸に至り八幡崖附近に所持品を投げ捨て投身したものと、如平警察署管内春季清潔法日割左の如し。

平署管内 春節衛生掃除

春節衛生掃除

◎第一方面 ▲神谷四月十八日 ▲夏井二十三日 ▲飯野二十五日 ▲高久二十八日 ◎第二方面 ▲御殿及綴四月二十四日 ▲二十七日綴(御殿、竹ノ内、高坂、宮を除く) ▲宮及高坂並に竹ノ内十三日 ◎第三方面 ▲二十七日白水 ▲十ふと。

後援會總會

後援會總會

田子會長披露 過般衆議院議員選舉で落選した佐藤庄太郎後援會は過般發會したか来る十一日平町に於て春節總會を開き宣言決議をなしたる後會長田子健吉氏の披露を行ふと。

稼高證明を變造し 磐城炭礦から横領

稼高證明を變造し 磐城炭礦から横領

石城郡内郷村大字白水字新窪磐城炭礦が辭任し後任組頭問題で紛糾してある事塵報の如くである深刻な不況による町村分擔金の稼高證明の金八圓を二十圓とが過般四倉警察署に幹部會を開納入不成績と且片倉警務會社が變造し十八圓四十錢分の物品を販賣所より詐取した外同僚木村後任組頭問題では四倉消防協會長寅吉外數名所有の稼高證明書を盗取して之を變造し磐城炭礦販賣所より白米その他を窃取した事發覺三日平署に文書偽造詐欺として捕はれた。

署長に一任

署長に一任

四倉組頭 ▲四倉警察署から平署に榮轉した部長橋本四良氏は四日午前四時四倉發にて赴任し、後任四倉署勤務神倉部長は田島警察署より今朝日に着任する等。

松ヶ岡公園下に

覆面の強盗

婦人に騒がれて逃走

平町松ヶ岡公園下麻袋屋塩坂勝運搬夫彌惣次孫渡邊等(三四)次方へ一日午後十時半頃表口ガは三日午前九時十五分坑内をトラス戸を破つて三十前後中肉中ロで降る途中頭を上げた處天幕背モチリ外套を着た覆面強盗が打ちつけ膝震盪を起し即死し押入り折柄勝次は不在にて妻をたの寢室に踏込み短刀様の兇器をつきつけ金を出せと強要したが妻に騒がれて逃走した、犯人殿探中。

爆破作業中 二名重傷

石城郡小玉川電氣會社工事場にて一日正午頃爆破作業中ダイナマイトが全く豫期し得ぬ原因で突然爆発し傍にいた石山次郎(二〇)宮崎長吉(三〇)の兩名は両眼、右手等に重傷を負ひ平町紺屋町吉田醫院で手當中であるが石山は失明を免れざるべく宮崎は幸じて閉眼し得る見込である

藤田校バザー

藤田女學校では縣社子歛會社社の例祭日十七、八の兩日恒例卒業生製作品展覽會並にバザーを開催する。

無錢飲食

當時住所不定無職宮城縣巨野郡坂元村生れ谷津登磨(三九)は二月十六日平町町福住旅館に投宿し三十一日迄の宿料を支拂はずに逃走したので捜索中である。

運搬夫死亡

トロに乗つて 石城郡赤井村大字西小川福島炭

酒井氏逝く

町酒井重雄氏は久しく病氣中の處四日前八時死亡した、遺骸は四日茶屋に附し六日午後二時自宅出棺平町長橋町性源寺にて佛式により營む筈である。

ハガキ集

(投書歓迎) 俺ん所のYが俺の不在中にひつぱられて柔道師範の何たら云ふ野郎にさんざひつぱられたさうな、理由は道路路ばたでボール投げをやつて居つたからださうだ。俺も歸へつて来て其話を聞いて少なからず憤慨したが又彼の言葉又聞して却へつて氣の毒にも思つた、もつとも出羽みたいな馬鹿力のある者は低脳に相場がきまつて居るものだが我輩の帽子を見ろ(彼の帽子には金ビカの徽章が付いて居る、彼には余程それが有がたいと見える)我輩は此れでも義務教育は終えて居る(彼は尋常六年の卒業を余程光榮に思つて居るらしい)又他にあらが此の二言を聞いて殆んどあきれ返つた。彼等にあの帽子を被らせろをつらさせる事は狂人に出刃を持たして歩かせるよりおそろしい。(二葉)

腸胃 専門 院醫科 村松

共栄貯蓄 榮共ト存共△ 融金ノ易簡△ 善貯ノ味趣△ 堅固ト意誠△

佛國マルソー會社元詰 生葡萄酒 西村屋藥局

伊勢海老 御料理 本場 一の井 電話一六七番

醫院向き貸家 元新妻眼科醫院跡(病室付き) 平町紺屋町四三番地

耳鼻咽喉科 専門 新築場所合津醫院 電話五五九番

川井内科診療所 専門内科一般 呼吸器病バカリデハアリマセン 平町南町六五(電話七三二番)

春 斷然上戸の食堂 おはん 小料理食堂

四月三日寫眞替り 此村大吉 日活超大作映畫の白眉

突然之御目見得 彌生第二回特別大興行 關東浪界日本一と稱せられる 龍甲齋左虎丸師